

令和7年度 藤森中ブロック 小中一貫教育構想図

確かな学力 豊かな心 健やかな体

めざす子ども像：

「自分を大切に、主体的に学ぶ児童・生徒の育成」

小中 ■小中の9年間を児童・生徒の「育ち」の基礎と捉え、小中が校種をこえて一貫した教育活動を行
連携
う。
のね ■藤森中ブロックの地域性や児童生徒の育ちを踏まえた教育活動を展開するため、各校の教育課題を
らい、明確にし、解決するための情報交換や連携した取組を実践する。

令和6年度
5校の合同授業

我慢
できる
「ええ子」
育てよう！

	教育目標	めざす児童・生徒像	研究主題
藤ノ森小	自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持ち、心身ともにたくましく生きる藤ノ森の子	・すすんで学ぶ子 ・だれとでもつながる子 ・よくそくを守る子 ・しなやかで元気な子	自ら考え、共に学び合う子の育成 ～自己指導力の獲得をめざして～
藤城小	思いやりの心をもって、生き生きと活動する子どもの育成	・ふかく考える子 ・じっせんする子 ・しゃかいとつながる子 ・こころゆたかな子	互いに学び合う協働的な授業と情報活用能力を基にした生きる力の育成 ～国語科指導を通した主体的な対話力の育成を目指して～
砂川小	『「絆」を大切に、自らの未来を創造する砂川の子』	「やさしく かしく たくましく」 ・思いやりの心を持ち、仲間とともに ・夢に向かって自ら学び、他者と協働しながら ・めざす未来の子ども（確かな学力） ・たくましく心と体を育み、 「いのち」を大切に育む砂川の子（健やかな体）	自分で考え 仲間と学び合い 共に高め合う子の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～
竹田小	夢に向かって輝く、竹田っ子！ ～夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子をめざして～	【学力・習慣】自分を大切にできる子 【仲間づくり】他とのつながりを大切にできる子	夢に向かって輝く探究力の育成
藤森中	人間尊重の精神を基盤とした藤中教育の伝統を継承し、すべての生徒に、自らの将来を切り拓くことができる力を育む	・自主：自ら考え、行動できる生徒 ・敬愛：自分を大切にできる生徒 ・挑戦：挑戦し、結果から学ぶ生徒 ・生徒	主体的に学び、共に信頼し合い、互いに認め合う生徒の育成

【小中合同6部会のねらい】

【保健・健康教育部会】	【人権教育部会】	【学力把握・向上部会】
◆保健教諭＋保健主事 ＋栄養教諭等 ・児童生徒の生活習慣の実態調査・分析 ・健康教育の合同取組の企画・立案・推進 ・健康面での配慮を要する児童生徒の共有化 ・給食指導及び食アレルギー等の情報交換 ・その他	◆人権教育主任＋同和主任等 ・人権に関わる授業研修等 ・人権に関わる学校行事等の情報交換 ・人権に関わる地域行事等の共有化 ・その他	◆研究主任＋教務担当教員等 ・文部科学省学力調査の結果分析 ・ジョイントプログラムの結果分析 ・基礎・基本的な知識・技能習得 ・思考力・判断力・表現力等の育成 ・その他
【総合育成支援教育部会】	【生徒指導部会】	【授業改善部会】
◆総合育成支援教育主任 ＋LD連絡担当 ＋育成学級担当等 ・支援の必要な児童生徒の実態把握及び共有化 ・LD等の児童生徒への手立て等の情報交換 ・小中育成学級の授業研修 ・小中育成学級合同授業	◆各校生徒指導主任 ＋児童会生徒会担当主任等 ・規範意識の育成 ・学校・学級のきまりの統一性 ・児童会生徒会の交流・推進 ・部会活動の交流・推進 ・規律ある生活習慣の確立 ・その他	◆各教科担任 ・小中授業研修（授業展開、個に応じた手立て） ・言語活動の充実に向けての取組 ・コミュニケーション能力の育成 ・その他
＜6部会の反省の方法＞ ①実現状況の分析による各部の評価 ②児童・生徒の姿やアンケートやキャリアノート等の分析 ③学校評議員や保護者の意見・評価等の意見分析		

小中一貫した考えに立った指導			学習指導共通実践事項		学習ルール	生徒・生活指導共通実践事項	進路・健康・安全その他	具体的な活動		
中3	主体的な実践力・行動力	自己探究 & 個性伸長期	■自己責任能力の育成 生徒自身が、自分の将来に対して目標をもち、志をもって学習や学校活動に取り組む態度を育成する。	発展期	◆これまで身に付けたことを発展させ、自ら課題を見つけ、それを解決する力を育成する。	みそあじ運動	◆しっかりとしたいあいさつや言葉使いができ、「人を大切にできる」思いやりの心をもった行動がとれる。	◆「キャリア教育の推進」 「人権尊重の精神を基盤とした人権感覚と、すべての生徒に自らの将来を切り拓くことのできる資質・能力の育成」	4月	※教務、生徒指導、人権部会は月1回主任会を開催。
					【共通実践事項】 ①学習の約束と心構え：自分の考えと比較しながら共感的に聞き、自分の考えを相手にわかるように話す。 ②言語活動：自分の考えを適切な言葉で相手にわかるように論理的に話す。 ③家庭学習：目標を立て、自分の課題克服に取り組む。 (90～120分)	★みじたく 学習に必要なものや毎日の宿題がしっかりと提出できているか。 ★そうじ (学習環境の整理) 学習フィールドの机周りや机下も揃える姿勢。清掃活動を主体的にさせるための教師の見本となる姿勢。	【共通実践事項】 ①生活目標の設定：活動に応じた目標や態度を考え行動に移すことができる。 ②思いやりの心を育成：相手の人権や人格を尊重し、「つながり」を大切に行動をとることができる。	【共通実践事項】 ①キャリアノートや私たちの道徳の活用により自分と地域とのつながりを考え、将来の職業観をもつ。	5月	
中2			■自己決定能力の育成 児童・生徒自身が、自己理解を深めながら、自分の資質や能力を見出し、自分の個性の自覚を目指す。	活用期	◆これまで身に付けたことを活用させて、論理的思考力の育成を図る。	★あいさつ 授業の始まり、終わりのあいさつは元々よくハッキリ行う。教師が率先してあいさつを行い、あいさつをしなくなる空気に努める。	◆しっかりとしたいあいさつや言葉使いができ、「人を大切にできる」思いやりの心をもった行動がとれる。	◆「キャリア教育の推進」 「自他の違いを認め合い、お互いに支え合い、協力しながら生活する資質・能力を育成」	6月	小中連絡会
					【共通実践事項】 ①学習の約束と心構え：話し手の意図を考え、自分の考えと比べて聞くことができる。 ②言語活動：場に応じた声の大きさを話し、自分の考えを伝えることができる。 ③家庭学習：自分で課題を見つけ、毎日計画的に取り組むことができる。 (50～60分)	★あひさつ 終わりのあいさつは元々よくハッキリ行う。教師が率先してあいさつを行い、あいさつをしなくなる空気に努める。 ★じかんを守る チャイムの前に動き出し、余裕をもって授業にのぞむ。教室の内側から子どもたちを引き寄せる工夫。	【共通実践事項】 ①生活目標の設定：誰に対しても率先してあいさつができ、活動に応じた目標や態度を心がけようとしている。 ②思いやりの心を育成：相手の気持ちを考えてよりよい生活を送ることができる。	【共通実践事項】 ①キャリアノートやわたしたちの道徳の活用により、将来の職業観や働くことに触れ、自分の夢やライフプランを描く。	7月	
中1	主体的な表現力	自己探究期	■自己理解能力の向上 児童自身が、学習活動やその他の活動の中で、自分の適性や興味・関心などに気付いたり、確かめたりしながら、自己理解に努める。	基礎元末期	◆学習規律や基礎的・基本的な知識や技能を繰り返し指導し、習熟を図り、定着させる。		◆しっかりとしたいあいさつや言葉使いができ、「人を大切にできる」思いやりの心をもった行動がとれる。	◆「キャリア教育の推進」 友だちを意識し、大切に、協力して学習したり活動したりする資質・能力の育成。	8月	・小中合同夏季研修会 *部会ごとの研修会等で意見交換をする。
小6			【共通実践事項】 ①学習の約束と心構え：友だちや先生の話最後まで聞き、要点を聞けることができる。 ②言語活動：皆に聞こえるように大きな声で話すことや、場に応じた声の大きさを話せることができる。 ③家庭学習：与えられた課題について、興味をもって取り組み、自分で課題を見つけることができる。 (10～40分)			【共通実践事項】 ①生活目標の設定：日直や係活動でしっかりと行動や元氣なあいさつができ、「～です(ます)」と最後まで丁寧に話すことができる。 ②思いやりの心を育成：相手の気持ちを考えて助け合うなどし、よりよい生活を送ることができる。	【共通実践事項】 ①わたしたちの道徳の活用により、自分を見つめ、周囲と心を通わせる。	9月		
小5		自己理解期	■自己選択能力の育成 児童自身が、あらゆる活動に興味をもって楽しく取り組むこと(主体的に)を基盤に、自分の考えで物事を選択できる自己選択能力の育成を図る。						10月	
小4	基礎基本の定着	自己理解期							11月	
小3		自己獲得期							12月	・オープンスクール *小学生体験授業 ・部活動見学 ・入学説明会
小2									1月	
小1									2月	
									3月	・小中連絡会

開かれた学校づくり

*市民ぐるみ、地域ぐるみの教育の核として、家庭・地域に信頼される学校

開
か
れ
た
学
校
づ
く
り

＊市
民
ぐ
る
み
、
地
域
ぐ
る
み
の
教
育
の
核
と
し
て
、
家
庭
・
地
域
に
信
頼
さ
れ
る
学
校